IZUMI

油圧式圧縮ヘッド　EP－100W

取扱説明書

マクセルイズミ株式会社

このたびは、IZUMI の工具をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本工具の取扱い，注意事項などについて説明してありますので、ご使用前によくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

■安全上の注意

●ご使用前に、この「安全上の注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
●ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」,「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠ 警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠ 注意」と記載しています。
なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

1．取扱説明書に掲載する仕様内の圧縮作業に使用してください。
●スリーブに合ったダイスを使用してください。
組合せを誤りますと、本体が破損して傷害や損傷をおよぼす恐れがあります。

2．作業中のダイス部および可動部に触れないでください。
●はさまれたり、損傷した破片などが飛散する恐れがあります。

3．ヘッド部を人に向けたり、手や顔などを近づけるような使用はしないでください。
●破損し、飛散する恐れがあります。

4．感電に注意してください。
●ぬれた手で電源プラグなどに触れないでください。感電の恐れがあります。

5．作業場の周囲状況も考慮してください。
●工具は雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
●作業場は、十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。

6．指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
●本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⚠注　意

1．高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてから作業をおこなってください。

●材料や工具を落としたときなど事故の原因となります。

2．工具およびダイスなどにひび，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

●破損し、けがの原因となります。

3．作業場は、いつもきれいに保ってください。

●ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

4．子供を近づけないでください。

●作業者以外、工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。
●作業者以外、作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。

5．使用しない場合は、きちんと保管してください。

●乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

6．きちんとした服装で作業してください。

●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
作動部などに巻込まれる恐れがあります。
●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
●長い髪は、帽子やヘヤカバーなどで覆ってください。
作動部などに巻込まれる恐れがあります。

7．無理な姿勢で作業をしないでください。

●常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの恐れがあります。

⚠注　意

8．工具は、注意深く手入れをしてください。

●ダイスなどの交換は、取扱説明書に従ってください。
けがの恐れがあります。

●握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。けがの恐れがあります。

9．油断しないで十分注意して作業をおこなってください。

●工具を使用する場合は、取扱方法，作業の仕方，周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。軽率な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。

●常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。

●疲れている場合は、使用しないでください。
事故やけがの恐れがあります。

10．損傷した部品がないか点検してください。

●使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。

●部品破損，取付状態，その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

●部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

11．工具の修理は、販売店または弊社営業所に依頼してください。

●サービスマン以外の人は、工具を分解したり、修理，改造はおこなわないでください。異常作動して、けがの恐れがあります。

●工具の異常に気づいたときは、点検修理に出してください。

●本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

●修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

■ご使用上の注意

先に「安全上の注意」を記載しましたが、本工具，高圧ゴムホース（以下、ホース）を使用する際、さらに次に記載する注意事項を守ってください。

工具ご使用上の注意

●必ず、圧縮するスリーブおよびコネクタに適合したダイスを使用してください。接続性能上、悪影響を生じます。

●工具に使用する油圧ポンプまたはブースタは、使用前に点検をおこない、圧力範囲が６８．５ＭＰａに調整されていることを確認してください。

●カラ押し操作はしないでください。工具破損の原因となります。

●圧縮作業以外の工具の作動（加圧）は、ダイスおよび工具自身に悪影響を与え、接続性能の低下につながりますのでおこなわないでください。

●カップラおよびプラグの接続は確実におこなってください。不完全な接続で使用しますとラムが上昇しなかったり、上昇したまま下がらないことがあります。また、カップラに異物が付着していたり汚れている場合は、異物や汚れを取り除いてください。そのまま無理に接続しますとパッキンを痛め、油漏れの原因となります。

●カップラおよびプラグの着脱は、ラムを下降終点まで下げた状態でおこなってください。

●工具は、落としたり、ぶつけたりしないでください。

●工具を保管および使用しないときは、工具に付着した水，泥などきれいな布などでふき取り、ラムを下降終点まで下げてください。

高圧ゴムホースご使用上の注意

●ホースを誤って使用しますとホースが破損し、損害や損傷をおよぼす恐れがあります。

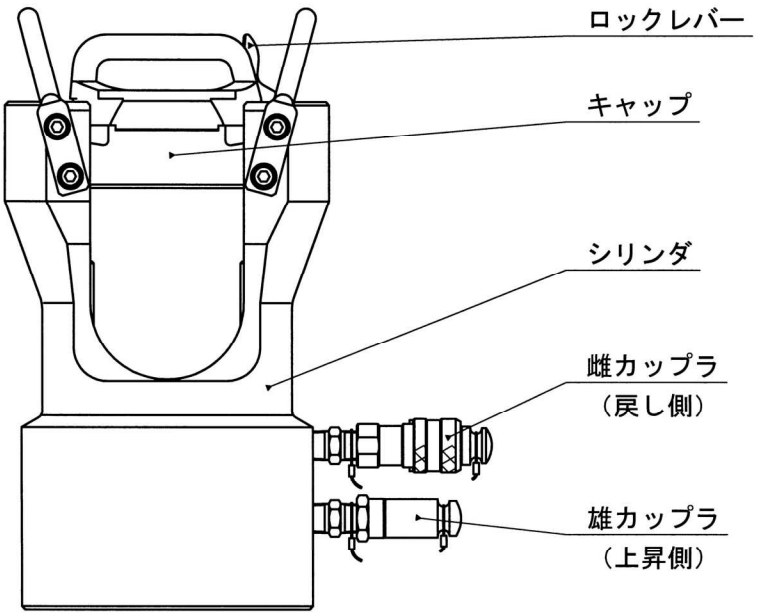
⚠警　告

●ホースの仕様は、６８．５ＭＰａです。規定の内圧以上に圧力をかけないでください。ホースが破裂し、損害や損傷をおよぼす恐れがあります。
●加圧中のホースには、絶対に触らないでください。ホースが破裂したとき、けがをする恐れがあります。
●通電させないでください。通電によるホース破損や感電の恐れがあります。
●工具の仕様前には、ホースの損傷，補強層の露出など異常がないか確認してください。異常があるときは、使用しないでください。
●ホースをねじったり、引っ張った状態で加圧しないでください。ホース，金具部付近で破壊する恐れがあり危険です。

⚠注　意

●ホースを接続するときカップラに異物が付着していたり、汚れている場合は、きれいにしてください。
●ホースを引っ張って工具を移動させるようなことはしないでください。
●ホースを折らないでください。折れた部分で早期に破損し危険です。
●ホースは直射日光をさけ、－１０℃～＋４０℃の温度範囲で、有害ガスのない乾燥した冷暗所に保管してください。
●ホースの上には重量物を置かないでください。
●ホースは、極端に曲げた状態で保管しないでください。
●ホースは、物の角に当たった状態で保管しないでください。
●ホースは、長期間保管しないでください。
（最高１年程度を目安としてください。）
●ホースは、ホコリがかぶったり、ホース内にチリ，ゴミなどが入らないようにしてください。
●ホースは、規定された最小曲げ半径（１５０㎜）より小さく曲げて使用しないでください。
●ホースは、車輌などで踏まないでください。

■各部の名称

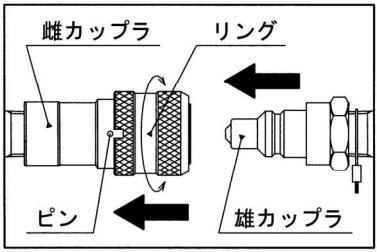


■仕　様

項　　目		諸　　元
作　動　形　式		複動式（安全弁内臓）
主　要　部　材		クロムモリブデン合金製
公　称　出　力		９８０．５ｋＮ
使 用 油 圧 力		６８．５MPａ
ラムストローク		２２mm
カ　ッ　プ　ラ	上昇側	ＢＩ雄カップラ　３２ＪＣ０６Ｃ
	戻し側	ＢＩ雌カップラ　３１ＪＣ０６Ｃ－ＸＸＷ
所　要　油　量		約３２０ｃｍ^3
質　　量		３２ｋｇ
適用油圧ポンプ		ＨＰＥ－４０，ＨＰＥ－２Ｄ， ＨＰＭ－０６Ａ，ＨＰＭ－０８

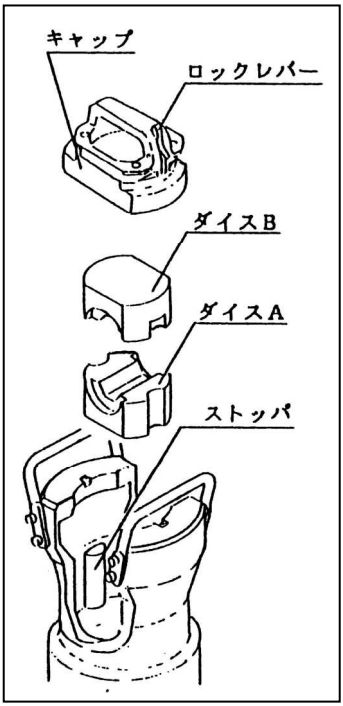
■使用方法

1．油圧ポンプのカップラへ油圧ホースを接続してください。雌カップラのリングの溝２箇所をピンの位置に合わせ、押し込んだ状態で雄カップラを挿入します。リングが元の位置に戻り、自由に回転できる状態が正しい接続です。



2．油圧ホースの反対側についているカップラを同様に、工具のカップラに接続してください。油圧ポンプと工具のカップラおよび油圧ホースの両端のカップラは、雄と雌が逆になっていますので、そのままつなぐだけで正しい接続ができます。

3．適合ダイスを選定し、工具に装着します。
　１）キャップを取り外します。
　　ロックレバーを押しながら９０°回転させて、上に持ち上げて取り外します。
　２）ダイスＡの溝を工具のストッパに合わせて装着します。
　３）ダイスＢのクリンプ面を下に向け、溝を工具のストッパに合わせて装着します。
　４）キャップを工具に取付けます。
　　このとき、ロックレバーがシリンダ上面の溝に入り、キャップが固定されたことを確認してください。



4．スリーブまたはコネクタに電線を挿入し、圧縮位置に工具を正しくセットします。
5．油圧ポンプを操作し、上下のダイスが密着し油圧ポンプの圧力スイッチが作動するまで加圧します。
6．圧縮が終わりましたら、ラムを戻してください。
7．キャップを取り外し、圧縮したスリーブまたはコネクタを取り外してください。
8．使用後、カップラにはゴミの付着および傷を防ぐため、必ずキャップをしてください。

■保守・点検

日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障の原因になりますので注意してください。

1．泥，コンパウンドなどの付着の有無
　汚れのあるときは、布などで拭き取ってください。コンパウンドなどが拭き取れないときは、洗油をつけてブラシで清掃してください。
2．工具各部の割れ，損傷および油漏れの有無
　割れ，損傷および油漏れがある場合は、使用を中止して販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
3．作動状態の確認
　工具に油圧ポンプを接続し、ラムがスムーズに作動するか確認してください。スムーズに作動しない場合は、販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
　※必ず、ダイスを装着しておこなってください。
4．工具のねじの緩み
　緩みのあるものは、まし締めしてください。
5．工具の円滑な作動および錆の発生を防ぐため、できるだけ湿気をさけて保管し、摺動する部分には、時々機械油を注油してください。

マクセルイズミ株式会社

本　　社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀３０３９番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
東京営業所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町３０－１３ ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
大阪営業所 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-1-10（CARP南船場第1ビル9階） ☎06(7663)0667(代) FAX06(7663)0668
名古屋営業所 〒465-0034 名古屋市名東区高柳町２０７番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光２丁目２２－３０ ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032 仙台市若林区荒井一丁目２１番地の８ ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768

113203781-07